

## 家庭科学習指導案

南 千里

### 1. 単元名 『めざせ! 未来の消費者市民~持続可能な社会に向けて, 防災から考えよう~』

### 2. 研究主題との関連

批判的思考力を活用し, よりよい未来の生活をそうぞうしようとする子どもの育成

#### (1) 題材について

消費者教育推進法が施行されて, 今年で8年目となる。この法律の中で, 消費者市民社会という言葉が使われているが, これは「消費者自らが, 現在および将来の世代にわたって社会経済情勢や地球環境に影響を及ぼし得ることを自覚して消費行動をする社会, また, その消費者の行動により公正で持続可能な社会の形成に進んで参画する社会」を示している。これからの消費者市民社会の担い手となる児童にとって, 自分の消費活動が今の地球環境, ひいては未来の地球環境にどのような影響を及ぼすかを自分なりに考え, 持続可能な社会の形成に向けて主体的に行動できる姿勢を培っていくことが必要となる。また加えて, 日本は美しい自然に恵まれている一方で, 大きな自然災害の発生する国であるということとを考慮すると, 未来を生きる児童は自分たちなりに防災に関する意識を高め, 自身でできることは行っていくという姿勢も必要だと考える。そのような現状を受けて, 昨年度, 6年生と題材「共に生きる生活~レットトライ非常食レシピ!~」を学習した。子どもたちは限られた条件の中, 非常食レシピを考える活動を行ったが, その際, 子どもたちから, 「非常食レシピは考えられそうだが, そもそもそれを作る材料が家に常にあるかどうか分からない」「自分の家庭に防災グッズがあるかどうか知らない」という声が聞かれた。また, 食に関することは考えることができたが, 着ることや住まい, 自分たちの消費活動について, 災害に際してどのような課題があり, 自分たちができることは何か, 今のままでよいのか, より良い方法は無いのかということまで追求することはできなかった。

また, 今年度, 児童は大阪教育大学の学生の方が開発してくださった題材で「魚の缶詰」を使用したレシピづくりからローリングストック法について学んだり, 未来そうぞう科の中で, 「非日常」「無」といった言葉をもとに, “今の状況”よりもちょっとでも“いい”を生み出す見方・考え方を培うために, 様々な活動に取り組んだりしている。11月には, その経験を生かして, 本当に何も無いことを体験するために, 自分たちで校庭キャンプを企画し, 実行した。

そこで, 今年度は, 実際に子どもたちがした「何も無い」という経験から題材を設定し, 最後は自分や家族の家庭生活に生かすことができるような活動にしたいと考える。衣食住や消費活動という自分の生活を支えるものを「防災」という視点からとらえ, 困難な状況の中でもよりよい状況を作り出すことができる力を培うことができればと思う。また, 今自分たちが行なっている消費活動と災害の関連を意識し, 今後の消費活動にいかしていけるようにできればと考えている。

#### (2) 題材の目標

資質・能力		そうぞう的实践力が発揮される姿
学びに向かう力 人間性	自分の生活をこれまで家庭科の見方・考え方をいかして振り返り, 多くのものや人に支えられていることに気づく。 気づいたことをもとに, 防災に関心を持って課題に取り組もうとしている。	防災について自分なりにできることを考え, 現在の家庭や学校生活や消費活動の中でできることを考え, 実践し兩づける続ける姿
思考・判断・表現	被災時の生活や環境を想像し, 自分ができるところを根拠を持って考えることができる。 考えた防災グッズやできることを家庭生活に活かし, より良い生活になるように発信したり, 工夫したりすることができる。	
知識・技能	被災時の生活や環境と通常の生活との違いを理解し, 自分の生活に必要なものを理解することができる。	

#### (3) 活動構成の仮説

##### ①「未来そうぞう科」との教科横断的学習を設定することで主体的実践力が高まる。

6年未来そうぞう科で自分たちの外側から災害を見る視点を培い, 家庭科で自分事として災害を見る視点を培うことで, 題材に対する理解や思考が深まり, より創造的な活動が可能になると思われる。さらに, 学習の終末に自分の家族に考えたことを提案する課題を取り入れ, これを未来そうぞう科の時間に合科で行いたい。3月の防災キャラバン等での発表も視野にいれ, 学習に取り組む未来そうぞう科と合科で行うことで, より主体的実践力が育まれるのではないかと考える。

##### ②ゲストティーチャーを活用することで, 見方・考え方が広がり, そうぞう的实践力が高まる。

実際に震災や台風による水害等を実際に経験した児童はほとんどいない。そこで, 実際に被災された方のお話を伺う機会を持ちたいと考える。自分たちなりに考えたことを念頭においてお話を伺うことで, 自分たちの想定が適切では無いということやそれ以上のことが起こるかもしれないということに気づくことができるのではないかと考える。

### 3. 指導計画 (全 10 時間)

学習内容・子どもの意識の流れ	教師の働きかけ	評価規準			
<p><b>先週あった校庭キャンプや缶詰食の授業をふりかえろう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>協力することの大切さを学んだよ。</li> <li>自分たちはふだん色々なものを活用したり、色々な人に助けられて生活していたんだね。</li> </ul> <p><b>もし災害（地震）がおこったら、この生活はどうなるのだろう。この校庭キャンプを生かせることはないかな。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>無いを経験して、準備の大切さがわかったよ。</li> <li>火をおこすのは大変だ。そういう道具があればいいな。</li> <li>夜中になると寒くなって大変だった。着るものも必要だ。</li> </ul> <p><b>これまでの経験を生かして、自分の家庭生活にあった防災バッグの中身を考えよう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>缶詰はあったらすごく便利だった。</li> <li>火をおこすのには時間がかかる。コンロがあればいいな。</li> <li>重くなりすぎると持っていけない。どうしたらいいかな。</li> </ul> <p><b>実際に自分の家ではどうかな。調べてみよう。(家庭学習)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>思っている以上に、しっかりと揃っていたな。</li> <li>自分が思っている以外の工夫もしていたよ。</li> </ul> <p><b>調べたことをみんなで共有して、もう一度必要なものを考えよう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>友達の家と自分の家の防災グッズは同じだった。</li> <li>これだけあれば3日間過ごすことはできそうだな。</li> <li>足りないものがあったから、家の人に伝えたい。</li> </ul>	<p>◎これまでの学習経験を振り返ることができるような資料を提示する。</p> <p>◎家庭での学習を共有できるような場を設定する。</p>	<p>[主体的に学習に取り組む態度]</p> <p>○自分の生活をこれまで家庭科で学習した視点で振り返り、多くのものや人に支えられていることに気づき、防災グッズに関心を持って課題に取り組もうとしている。</p> <p>○授業を振り返って、自分の家の災害への備えに関心を持って調べようとしている。</p>	<p>[思考力・判断力・表現力]</p> <p>○被災時の生活や環境を想像し、自分なりの防災グッズを考えを根拠を持って考えている。</p> <p>○必要な情報を取捨選択し、整理して活用している。</p> <p>○調べたことや友だちの考えを関連づけて、自分の選んだ防災グッズを見直している。</p>	<p>[知識技能]</p> <p>○被災時の生活や環境と通常の生活との違いを理解し、自分の生活に必要なものを理解している。</p>	<p><b>主体的実践力を発揮する姿</b></p> <p><b>被災時の生活や環境を想像し、獲得してきた知識・技能を活用して、他者と交流したりする中で、自分や家族に必要な防災グッズを自分なりに考えようとする姿</b></p>
<p><b>災害から一週間がたったら、、、どんな問題が起きそうかな。考えてみよう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>避難生活はストレスが溜まりそうだな。実際はどうなんだろう。</li> <li>ライフラインがあれば大丈夫だと思うよ。</li> <li>ゴミはどうしたらいいんだろう。</li> </ul> <p><b>自分たちでわからないことを調べてみよう！ゲストティーチャーのお話を聞いてみよう！</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実際に災害を体験した方にも聞いてみたいな。</li> </ul> <p><b>お話を聞いたり調べたことを基にしてもう一度、考えてみよう。(本時)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>思っていた以上に、大変そうだった。</li> <li>家で過ごすか、避難所で過ごすかによっても変わってくると思うよ。</li> <li>もう一度、自分たちの考えを見直そう。</li> </ul> <p><b>今回は震災で考えた。台風や水害、他の国で起こっている災害はどうか？</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SDGsの14番目にも気候変動があるね。これと関わりがありそうだ。</li> <li>オーストラリアでも火災が続いていたらしいよ。</li> <li>異常気象という言葉はよく聞くよ。台風や災害もそれが原因かも。</li> </ul> <p><b>なぜ消費者？「消費」と「災害」、どういう関係があるのかな？</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>私たちがものを使ったり、捨てたりすることと、災害は関わりがあるのかな。</li> <li>消費活動を変えれば気候も変わって、海や陸も守られるかな。</li> <li>スターバックスはストローを紙に変えたよ。私たちが何かできるかな。</li> </ul>	<p>◎課題を明らかにした上で、ゲストティーチャーのお話を伺えるような場を設定する。</p>	<p>○自分なりの考えを持って、ゲストティーチャーの方のお話を聞こうとしている。</p> <p>○他の災害と自分たちの生活のかかわりを意識して考えようとしている。</p>	<p>○自分の考えと伺ったお話を関連づけたり、比較したりして、自分の考えをもう一度批判的に見直している。</p> <p>○自分たちの生活を批判的に見ることで、災害との関わりに気づいている。</p>	<p>○ゲストティーチャーの方のお話から被災時の状況や問題点を理解している。</p> <p>○自然災害と気候変動、人間の生活との関わりを理解している。</p>	

<p><b>考えたことを他の人に提案してみよう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まずは家族と話したいな。</li> <li>・学校で被災したらどうしたらいいかな。先生たちとも話をしておかないといけないよ。</li> </ul> <p><b>防災に向けて今、普段の生活からできることはないかな。</b></p> <p><b>学習をふりかえってまとめよう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の住んでいる場所の防災時に役に立つ情報ことを集めよう。</li> <li>・日ごろから備えをしておくことが必要だね。</li> <li>・まとめたことをカエルキャラバンで伝えたいな。</li> <li>・下の学年にわかるように授業をしたいな。</li> </ul>	<p>◎なぜその内容を選んだのか、根拠を書くよう</p> <p>◎自分の考えを友達に伝え、互いに評価する場を設ける。</p>	<p>○防災について考えたことを家の人や学校の中で紹介し、防災に関する意識を高めようとしている。</p> <p>○家庭科で学んだことを生活や消費活動に生かしたり、次の活動につなげようとしている。</p>	<p>○被災時に向けて、日頃の生活や消費活動において自分なりにできることを考えたり工夫したりしている。</p> <p>○学んだことをわかりやすく伝えられるように工夫して発信している。</p>	<p><b>そうぞうの実践力が発揮される姿</b></p> <p><b>防災について自分なりにできることを考え、現在の家庭や学校生活や消費活動の中でできることを考え、実践し雨づける続ける姿</b></p>
--	--	---	---	--

